第4回「ダイビング船の安全対策検討委員会」議事概要

日 時：令和7年6月27日（金）14：00～15：22

場 所：中央合同庁舎2号館1階国土交通省第1会議室

出席委員：羽原座長、池田委員、小林（秀）委員（代理出席）、小林（勝）委員、末森委員、高野委員、豊嶋委員

【オンライン出席】遠矢委員、古郡委員、本間委員、宮崎委員

議事次第に沿って、事務局から資料の説明を行い、意見交換を行ったところ、委員からの主な意見は以下のとおり。

- プロペラガードについては、燃費効率やスピードの面でデメリットが多く設置のハードルが高いことから、他に選択可能な安全対策があれば例示して欲しい。
- ガイドライン案4.2③において「事故処理の対応フロー」となっている箇所について、1.3①の表現に合わせ、「緊急時の対応フロー」等に修正した方がよいのではないか。
- 船長に代わり、船舶免許を持たない見張員が見張りを行っている間に危険が迫ってきた場合、当該見張員はどのような対策を取りうるか、QA集に説明を追加した方がよいのではないか。
- 沿岸や湾内の係留に適した環境で係留している場合も、見張りの実施義務があるのか。岸から離れた場所に沖止めされている無人の漁船を見かけるが、このような漁船には見張りの実施義務はないのか。
- 医療用酸素吸入器具等の船舶への持込みについて、船舶で使用する目的での持込みと、充填等に伴う輸送のための持込みも取り扱いは同じとの誤解を招かないよう、QA集に説明を追加した方がよいのではないか。
- ガイドラインについては、現場からの意見や事故事例等を収集し、定期的に内容を見直していくこととしてはどうか。

以上